

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
22	萩野 基行（8）	<p>1. 児童生徒の携行品の軽減について</p> <p>児童生徒が毎日学校に通う際、荷物が重すぎて、健康を害するとの声を多く伺います。その日に使う教科書、副教材、熱中症対策等の水筒など10キログラム近くの荷物を小学校低学年の児童が持つていくこともあるようです。</p> <p>小学校では平成23年からの新学習指導要領の全面実施に伴う、学習内容の充実化による教科書の大型化や厚みの増加、副教材の多様化により、荷物が重くなっているのは御承知のとおりです。そこで、平成30年9月に文部科学省が、児童生徒の携行品に係る配慮について全国の教育委員会に通知を出しました。</p> <p>そこで以下お伺いします。</p> <p>(1) 文部科学省からの通知を受けての本市の対応について</p> <p>(2) 各学校での対応状況について</p> <p>(3) 実施をする、また実施している上での問題について</p> <p>(4) 問題があるならば、その対策と今後の取り組みについて</p> <p>2. SNSを活用したいじめ・虐待・自殺相談について</p> <p>平成30年6月定例会にて一般質問させていただきましたが、全国の各自治体にて導入され、成果を上げていることから、再度質問させていただきます。</p> <p>昨今、いじめによる不登校や自殺が後を絶ちません。また虐待問題も社会で大きな問題となっております。大事に至る前に早期発見をし、傷の浅いうちに対応することが相談事業であると考えます。</p> <p>今の子どもたちのメインのコミュニケーション手段はSNSであります。実際に、文部科学省におきましてもそれを認識して、SNSを活用した相談体制の構築事業に取り組んでおります。そこで、本市もSNSの中でも特に使用率の高いLINEを活用した相談窓口を導入する必要性を感じ、以下伺います。</p> <p>(1) 前回の一般質問時、静岡県でのLINE相談窓口開設を注視し、研究していくとの答弁がありましたが、県の取り組みを見ての考察について</p> <p>(2) 今後、導入する考えはあるか。</p>	市長 及び 教育長 担当部長